

Estuary 048



エスチュアリ

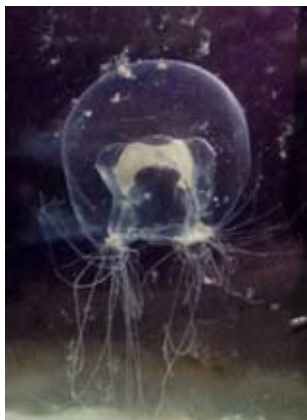
いしかり砂丘の風資料館だより

☆エスチュアリ…「河口」の意味。北海道一の大河、石狩川と日本海とが会う場所、それが石狩です。

十字もようの小さな風鈴 ドフラインクラゲ

先日、石狩浜で1～2 cmほどの小さなクラゲ、「ドフラインクラゲ」が確認されました。ドフラインクラゲは北海道でもよくみられるクラゲの一つで、春～初夏にみられます。温暖な海に分布しているといわれますが北海道から四国まで幅広い地域で見ついているようです。

ドフラインクラゲを上から見ると薄いガラスのように透き通った傘に白い十字もようが浮かび上がっているように見えます。この十字もようの正体は消化や生殖をつかさどる器官、つまりクラゲの内臓です。ドフラインクラゲの魅力の一つはこの十字もようの色の変化。十字の4つの各端には触手が30～40本ほど集まっています、この触手で獲物をつかまえて食べると、白



く見えた十字は食べたものの色（オレンジ色など）に染まるのです。

ところで、このクラゲの名前は、ドイツの動物学者フランツ・ドフライン博士（1873—1924）に由来しています。博士は東南アジアでドフラインクラゲを発見し、また日本へも訪れ、数々の貴重な発見を残しています。

一口にクラゲといっても、ミズクラゲのように長い期間みられるクラゲも

■ドフラインクラゲ

Nemopsis dofleini

刺胞動物門ヒドロ虫綱
花クラゲ目エダクラゲ科

あればドフラインクラゲのように限られた時期にしかみられない種類もあります。ドフラインクラゲはもうすぐ夏だよ、と教えてくれる小さな風鈴のようですね。◆

（中嶋 灯奈 なかしま ていな）

紀要? 論文? ムズかしい… なんて、言わないでください! 石狩の自然や歴史を未来に伝えるためには、「客観的な事実をもとにする」「曖昧な表現をしない」記録が必要なのです。

今年発行した第5巻には、学芸員のほか、大学の先生や市民による研究成果が9編の論文にまとめられています。その中から、今回はこの論文をピックアップ! 何が書いてあるのか、聞いてみましょう!

2010年の石狩湾沿岸における漂着アオイガイの殻長の季節変化 (志賀健司・伊藤静孝) pp.7-12.

Q. アオイガイって貝?

志賀「いいえ。カイと名が付いてるけど、タコの仲間なんです。メスは白く薄い殻を作って、暖かい海をプカプカと泳いでます。」

Q. 石狩湾に、暖かい海の生物が漂着した?

志賀「これまで石狩湾やそれより北ではめったに見つからなかったんですが、10年くらい前から、石狩や小樽の海辺にたくさん打ち上げることが増えてるんです。海水温が高い年は漂着も多いことがわかっています。特に2010年は、これまでにない“大漁”漂着でした(北海道で初めての大発見もありました!それを知りたい方は、ぜひ論文を読んでください)。だから、この研究のためのサンプルもたくさん手に入ったんです。」

Q. この研究、ズバリ、一言で言うと何をやったの?

志賀「2010年の秋に石狩に漂着したアオイガイを、2ヶ月間ひたすら浜を歩いて集めて、ひたすら殻の長さを測りました。アオイガイの大半を採集したのは共著者の伊藤さん。“アオイガイハンター”です。」

Q. 地道ですねえ…。で、何か発見が?

志賀「2ヶ月間に漂着したアオイガイの大きさは、最小3cm、最

大19cm。でも、大小バラバラに漂着するんじゃなかったんです。最初は小さいヤツから先に漂着して、だんだん大きいヤツも打ち上がるようになる、ということが、わかりました。まあ、アオイガイを集めている人たちはうすうす気づいていたことなんでしょうけど、それを客観的に確かめることが大事だったんです。アオイガイの生態はわからないところだらけ、寿命すら不明。その解明の糸口になります。今回の研究は実は“お試し”。今後はこれまでの10年分の標本のデータを調べてみます。」

Q. この研究、何の役に立つ?

志賀「ズバリ、役に立ちません。少なくともすぐ、お金が儲かるとか人々の暮らしが快適になるとかいうことはないですね。でも、この美しい、けど謎に満ちた生物の未知のバールが1枚でも剥がされるって、すごくワクワクしません? アオイガイの話を聞いて、海ってまだわからないことだらけなんだ、もっと知りたい、調べてみよう、と思う人がちょっとずつでも増えていけば。何十年後の未来の地球に、わずかにでも役立つかなと思うのですが、どうでしょう?」



「いしかり砂丘の風資料館紀要」は、第1巻から、石狩市民図書館などで読むことができます。また、資料館ホームページからもPDFファイルをダウンロードできます。

<http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/museum/publication.html>

■「石狩ファイル」で自分だけの石狩事典を!

石狩の自然・歴史・文化を1テーマ1ページで解説する、石狩ファイル。「石狩の山」「石狩空襲」などなど、現在No.150まで公開中。興味のあるテーマを集めてファイルして、自分だけの石狩事典を作っちゃおう!

資料館・図書館で配布しているほか、ネットからもダウンロードできます。

<http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/museum/iftop.html>
(資料館ホームページ内)

ちなみに、人気トップ5は…

- ★1位 石狩紅葉山49号遺跡 (No.2)
- 2位 石狩市指定文化財 (No.21)
- 3位 石狩空襲 (No.12)
- 4位 石狩油田 (No.19)
- 5位 石狩の地形 (No.1)

(※資料館内配布用に増刷した部数から)

■石狩市広報に連載「いしかり博物誌」

第137回

今年も出る? 海辺のおばけ、蜃気楼 (2015年5月号)

第138回

曲物はどこからきた? (2015年7月号)

石狩市広報のPDFから読めます↓

http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/publication/publication_top.html

2015年の講座・展示

講座

種類	講座名	開催日	場所
野外講座	石狩ビーチコーマーズ／春の海辺の漂着物 海辺の漂着物を観察・採集します。 終了!	4月19日(日)	石狩浜、砂丘の風資料館
体験講座	縄文土器復元講座(全2回) 縄文土器を作ります。2回目は野焼き。 受付終了!	7/5、8/1(土)	石狩市公民館、紅葉山49号遺跡
体験講座	勾玉づくり 古代のお守り・装飾品の勾玉を作ります。 終了!	7月11日(土)	砂丘の風資料館
体験講座	テンキ作り～ハマニンニクで小かごを編む～ アイヌの工芸品「テンキ」を作ります。 受付終了!	7月25日(土)	砂丘の風資料館
体験講座	サケ切身骨格標本をつくる サケの切身から部分骨格標本を作ります。	9月5日(土)	砂丘の風資料館
トークイベント	ウミベオロジー／石狩海辺学2015 知ってるようで知らない海辺の世界を語ります。	10月3日(土)	紀伊國屋書店札幌本店
体験講座	縄文文化の暮らしをジオラマで作ろう 当時の道具を観察し、その暮らしをジオラマにします。	10月10日(土)	砂丘の風資料館
野外講座	石狩ビーチコーマーズ／秋の海辺の漂着物 海辺の漂着物を観察・採集します。	10月25日(日)	石狩浜、砂丘の風資料館
講演会	石狩紅葉山49号遺跡から縄文世界遺産へのメッセージ 講師：小杉康(北海道大学大学院教授)	12月5日(土)	石狩市民図書館
体験講座	フライドチキン骨格標本をつくる フライドチキンから骨格標本を作ります。	12月19日(土)	砂丘の風資料館
連続講座	石狩大学博物館(全2回、4科目) 石狩の自然や歴史について、最新の研究成果を紹介。	1月 (土)	石狩市民図書館
野外講座	石狩ビーチコーマーズ／冬の海辺の漂着物 海辺の漂着物を観察・採集します。	2月 (日)	石狩浜、砂丘の風資料館

展示

種類	展示名	開催期間	場所
テーマ展	海辺のオバケ?石狩湾の蜃気楼 終了!	4/29～6/29	砂丘の風資料館
テーマ展	(戦後70年関連展示を予定)	8月	砂丘の風資料館
テーマ展	石で作った縄文時代の道具たち	9/16～12/13	砂丘の風資料館
テーマ展	資料館のお宝2016	12月末～2016年3月	砂丘の風資料館

※講座は申込が必要です(一部を除く)。
※日程・内容は変更になることがあります。

詳しくは、資料館ホームページ、石狩市広報誌(広報いしかり)などをご覧ください。
砂丘の風資料館までお問い合わせください。
(連絡先は4ページ下部)

2015年7月～9月の講座

体験講座

テンキ作り～ハマニンニクで小かごを編む～

石狩の海辺にみられるハマニンニクの葉を材料に、アイヌの工芸品「テンキ」作りに挑戦し、小かごを作ります。

- 日時 7月25日(土)10:00～16:00
- 場所 いしかり砂丘の風資料館
- 定員 小学4年生～大人、10人(先着順)
(小学生は保護者同伴で)
- 費用 無料
- 持ち物 タオル、エプロン、昼食など
- 申込 ~~7/1(火)～7/22(火)の間に電話で~~
~~資料館(0133-62-3711)へ~~



※定員になりましたので
受付を終了しました。



7月
開催

体験講座

サケ切身骨格標本をつくる

スーパーで売っているサケの切身から骨を取り出し、きれいに処理して学名ラベルを付ければ、立派な部分骨格標本のできあがり！骨から生命の進化の歴史も考えます。

- 日時 9月5日(土)12:00～17:00
- 場所 いしかり砂丘の風資料館
- 定員 小学4年生～大人、10人(先着順)
- 費用 無料
- 持ち物 サケ切身(食べられる状態で・骨の多いもの)
- 申込 8/1(土)～9/2(水)の間に電話で
資料館(0133-62-3711)へ



CISE サケサイエンス・テーリング2015
サケ博士になろう！

札幌周辺の博物館などで開催する
対象講座3つ以上に参加しよう！
サケ博士修了証とお楽しみグッズ
がもらえる！

(対象講座など詳細はお問い合わせください)

9月
開催

石狩市民図書館
いしかり砂丘の風資料館
石狩海浜植物保護センター
石狩市民館
いしかり館
ネットワーク
…って？

→石狩市内の「〇〇館」4つがタッグを組んで、
みなさんの生涯学習活動をサポートします！

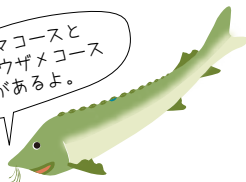
めざせ！ いしかりはかせ しりょうかん探検クイズ

館内をまわりながら、クイズに答えて「いしかりはかせ」を目指そう！

クイズに全問正解して「はかせの書」を読んだら「認定証」をプレゼント！(間違えても正解するまでやり直しOK) 詳しくは、資料館の受付で聞いてみよう！



クマコースと
チョウザメコース
があるよ。



CISE
ちせねっとわーく …って？

→札幌周辺の博物館や動物園、図書館などがコラボ！
ホンモノの標本をたくさん使い、自然や環境の教育を
スズメます！(砂丘の風資料館も参加！)

CISE(Community for Intermediation of Science Education)ネットワークは、札幌周辺(札幌市・小樽市・石狩市・北広島市)において、従来、連携の弱かった科学館、図書館、動物園などのネットワークを構築し、多面的な実物標本教育体験ができる教材開発をすすめ、社会教育や学校教育における実物科学教育を推進しています。
<http://www.museum.hokudai.ac.jp/cise/>

編集後記

4月から資料館のスタッフ構成がだいぶ変わりました。事務職の人が増えたので、その分、学芸員が調査研究や教育活動に力を注げるはず！(と、自らプレッシャーを…) (け)

いしかり砂丘の風資料館

- 開館時間 午前9時30分～午後5時00分
- 休館日 毎週火曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始
- 入館料 300円(中学生以下は無料)、
団体料金240円(15名以上)
- 交通 中央バス札幌ターミナルより石狩行き乗車、
「石狩温泉」下車、徒歩1分
(石狩温泉「番屋の湯」となり)

エスチュアリ No. 48



2015年7月15日発行

いしかり砂丘の風資料館
〒061-3372 北海道石狩市弁天町30-4
TEL/FAX: 0133-62-3711
bunkazaih@city.ishikari.hokkaido.jp
<http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/museum/>